

社会賞」受賞者喜びの声

喜ばれる挙式、披露宴演出

サンペール 近田 邦満社長



の門出を演出する。「地域の皆さん利用があつてこそこの受賞です。」
1967(昭和42)年、一宮町で都寿司を開いた。新郎新婦や両親に喜ばれると苦労し、ロードのある教会、カーペンバーイーもぞく開設的な文場など、取り組みたい。
を備え、結婚する2人

適正処理、環境保全を徹底

加山興業 加山 昌弘社長



P.F.工場も新設。「この道一筋で約50年、地域の理解をいただきながら取り組んできた。受賞は一層の理解につながるもの」と喜ぶ。どつても頑固なゴミ屋敷などの収集、運搬、処理、廃棄物利用による再生高の販売などを手掛ける。3年前、古紙、廃プラなどの廃棄物を圓形燃料化するR

「排出するゴミにも、ミ麗さん、モットーに適正処理、環境保全に徹底して取り組む。」と期待を込める。

地域社会の各分野で貢献した人たちをたたえる、「東愛知新聞社の第24回(平成20年度)特別社会賞」「社会賞」の表彰式は19日、豊橋市公会堂で開かれた本社主催の第33回要

上行われる。同賞は1985(昭和60)年1月、紙船1万号を記念して制定した。今年度の特別社会賞は豊橋交響楽団(森下元康音楽監督)。また、社会賞は独自の技術開発や起業家精神で事業展開しているイマタ(豊橋市神野新田町)、今田充洋社長(など9

事業所が輝いた。表彰式では、藤村圭吾東愛知新聞社社長のあいさつ、同賞公正委員の神野信郎氏(豊橋商工会議所相談役)、佐藤條次氏(豊橋文化振興財团理事長)が出席。選考経過など佐藤氏が説明したあと、藤村社長が受賞者一人ひとりに表彰状と記念品を贈る。

本社制定「特別社会賞」「社会賞」

さじょう表彰式